



「長里小・小長井小・遠竹小の統合に向けた準備委員会」だより

第1号 R5.8.28 発行

文責：諫早市教育委員会
学校改革推進室

～ 円滑な統合を目指して ～

■ 令和7年4月 小長井地域の3つの小学校を統合します（教育長あいさつ一部抜粋）

諫早市においては、少子化の影響により児童生徒数が大幅に減少し、異なる学年の児童が同じ教室で授業を受ける複式学級を有している過小規模校がある一方で、宅地開発やマンション建設により、児童生徒数が大幅に増加している大規模校が混在しています。特に複式学級を有する過小規模校では、集団活動や学校行事の教育効果の低下や男女比の偏りなどの課題が生じています。

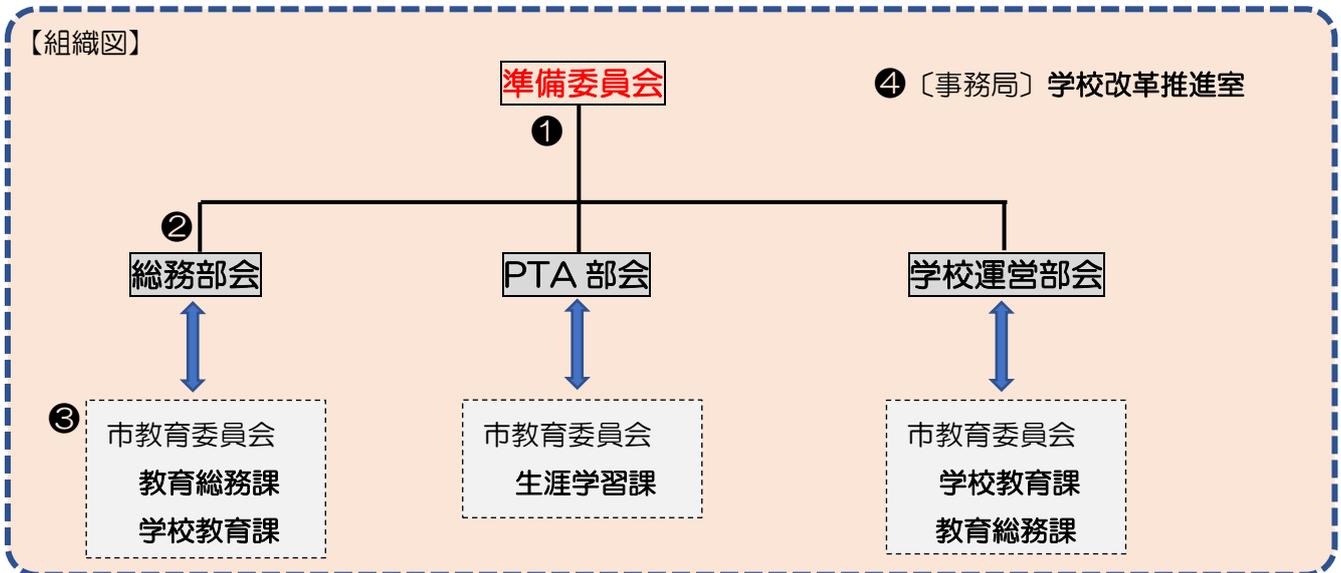
諫早市教育委員会では、「すべての学校における教育の質の保障」と「望ましい集団生活の中で活気に満ちた学校生活を過ごすこと」の2点が大切であると考え、市内の諫早市立全小中学校42校を対象に適正規模・適正配置の検討をすすめています。

特に、小長井地域については、児童生徒数を市町村合併時の平成17年度と今年度を比較すると、6割強減少しており、今後も減少傾向にあると推計しています。

このような状況の中、小長井地域の子どものために、適切な教育環境を整えることは、諫早市教育委員会の責務であり、3小学校の統合を進めることは急務であると考えています。また、令和10年4月には、中学校も統合した全国に誇れるような、諫早市で初めてとなる義務教育学校を設置したいと考えています。

■ 『長里小・小長井小・遠竹小の統合に向けた準備委員会(以下「準備委員会」)』が発足しました

【組織図】



- ① 準備委員会の委員長、副委員長は委員から互選で選出
- ② 各部会の部会長、副部会長は3小学校の校長・教頭
- ③ 各部会には諫早市教育委員会担当課を配置しサポート
- ④ 準備委員会の事務局は学校改革推進室



■ 準備委員会委員の皆様（敬称略 一部順不同）

保護者代表：矢竹 優太・北嶋 暁・宮崎 誠・本村 隆信・山開 政己・村上 鴻志・鶴田 慎也
 住民代表：川野 福美・田川 貞則・石橋 正義・一ノ瀬一成・田川 融・佐々木健馬・野口 弘繁
 校長・教頭：紙永 智仁・白石 和幸・江口佳也乃・田川 貴巳・真野 有里・吉永 一平
 有識者：吉永 敏郎・佐藤美奈子・土井 信幸・藤川 秀昭・松井 和彦・秀島はるみ・富田 和彰

- ◆ 準備委員会委員長：富田 和彰
- ◆ 準備委員会副委員長：田川 融
- ◇ 総務部会長：江口佳也乃
- ◇ 総務副部会長：紙永 智仁・白石 和幸
- ◇ PTA部会長：田川 貴巳
- ◇ PTA副部会長：真野 有里・吉永 一平
- ◇ 学校運営部会長：白石 和幸
- ◇ 学校運営部副部会長：紙永 智仁・江口佳也乃

準備委員会当日 石部教育長から委嘱状を交付いたしました。 任期は令和7年3月31日

■ 各部会部員の皆様（委員のみ 敬称略 一部順不同）

表は委員の方のみを掲載しています。部会がより円滑に進行できるように、部員には各校・各園等から委員以外の保護者代表の方にご参加いただくことも可能のため、部員の欄に空欄があります。

部 会	部 会 長	副 部 会 長		部 員		
総務部会	江口佳也乃	紙永 智仁	白石 和幸	矢竹 優太	宮崎 誠	本村 隆信
				山開 政己	川野 福美	田川 貞則
				石橋 正義	一ノ瀬一成	田川 融
				佐々木健馬	野口 弘繁	吉永 敏郎
				佐藤美奈子	土井 信幸	藤川 秀昭
				松井 和彦	秀島はるみ	
PTA 部会	田川 貴巳	真野 有里	吉永 一平	北嶋 暁	村上 鴻志	鶴田 慎也
学校運営部会	白石 和幸	紙永 智仁	江口佳也乃	田川 貴巳	真野 有里	吉永 一平
				学校関係者のみで組織します		

■ 第 1 回 準備委員会の様子

令和 5 年 8 月 2 4 日（木）19 時から小長井文化ホール〔ハートフルホール（集会室）〕において、『第 1 回 長里小・小長井小・遠竹小の統合に向けた準備委員会』を開催いたしました。



準備委員会 開会式



委嘱状交付



準備委員会 委員長あいさつ



議事 検討協議



各部会 顔合わせ



開会のことばの後、準備委員会設置の概要説明があり、石部教育長から準備委員会の委員 27 名の皆様に委嘱状が交付されました。続けて、教育長あいさつ、参加者自己紹介があり、議事に入りました。委員長・副委員長の選出のあと、委員長の富田和彰議長の進行で、各部会長・副部会長の紹介や、準備委員会や部会の進め方などを確認し、最後に各部会の顔合わせを行い、第 1 回の部会の日程などが決まりました。

いよいよ、令和 7 年 4 月の長里小・小長井小・遠竹小の統合に向けて本格的に動き始めました。教育環境の充実を図り、子どもたちが主役の学校を、小長井地域の住民・保護者・学校関係者と共により一丸となり、創りあげていきます。次回の準備委員会から、本格的な議事が協議されることとなります。